

技術者不足解消の最前線に立つ

日本建設情報センター（CIC）は、「出口のないトンネルなどない。技術者教育を通じて私たち自身が体現していく」を理念として掲げています。これは、年齢や社歴に関係なく、受講生全員が合格に求められるさまざまな知識を最短で習得できる講座を目指すということでもあります。

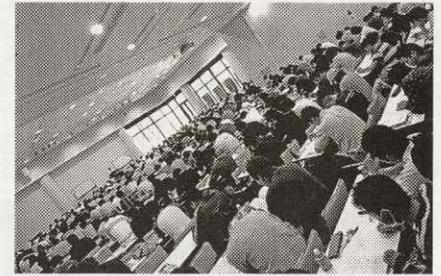
いま建設業界は、政府が掲げる国土強靱化の推進として老朽化したインフラの再整備と防災・減災対策、開催を間近に控えた東京オリンピックなど、大型の建設投資が見込まれ、技術者の需要がますます高まっています。

しかし一方では、建設業の若手技術者の減少や監理技術者の高齢化などが深刻な問題となっており、企業は技術者の教育並びに資格取得計画を立て、とりわけ若手技術者を育成

していくことが急務となっています。

そうしたなかで私たちは、建設業において「施工管理技士資格試験」に特化し、受講生の最終目標である「合格」に応えるために、最高の技術者教育を提供していくことにこだわりを持っています。

また、以前より特に技術者が求められていた電気通信工事の技術者不足解消に向けて、2019年度からいよいよ「電気通信工事施工管理技士試験」が実施されます。CICも施工管理技士資格試験に特化した受験対策を提供している者の使命と考え、電気通信工事施工管理技士の受験対策講座を通信・通学ともに開講します。毎年寄せられる受講生の声をテキスト作成に反映させているため、講義する側を主体としたテキストではなく、受講する側の視点を十分に



施工管理技士受験準備講習会の様子

考慮したものであるといえます。このようなCICのテキストと合格に必要な知識やテクニックを伝授するため日々研さんを積んだCIC講師陣が受験生を短期合格へと導きます。

最後に、試験に合格して得られるものは資格だけではありません。自分に対して自信を持てるようになります。これは社会人にとって大きな財産となり、合格した者にしか実感することはできません。

ぜひ、CICの受験対策講座で短期合格をつかみ取ってください。

2018年12月28日付
建設工業新聞 第7面